

開館34周年記念イベント「MIMOMCA'S BIRTHDAY」



2024年度の開館記念日の様子 撮影：大峯達麻

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(MIMOMCA)は、2025年11月23日(日・祝)に開館34周年を迎えます。この日は、観覧料無料で展覧会をご覧いただけるほか、「妄想」をテーマに来場者の皆様にお楽しみいただけるさまざまなイベントを開催します。

日 時	2025年11月23日(日・祝) 10:00 – 18:00
会 場	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 全館
主 催	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 / 公益財団法人ミモカ美術振興財団

プログラム担当：島田里都子、大浦美咲、塩山あゆみ、堀本宗徳、神山結衣

広報担当：佐伯美帆、谷村無生

〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1

TEL 0877-24-7755 FAX 0877-24-7766

E-MAIL press@mimoca.jp URL www.mimoca.jp



令和7年度日本博2.0事業（委託型）



— 概要説明

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（MIMOCA）は今年11月23日（日・祝）に開館34周年を迎えます。日頃よりMIMOCAを支えてくださっている皆様に感謝の気持ちを込めて、毎年この日は観覧料を無料にしています。34周年を迎える今年のテーマは「[妄想](#)」。館内ではテーマにあわせ、来場者の皆様にお楽しみいただけるさまざまなイベントを開催します。

ゲートプラザでは、現在進行中の長期プロジェクト「きむらとしろうじんじん 野点（のだて）と丸亀妄想屋台群」の一環として、美術家・きむらとしろうじんじんによる「野点」を実施します。お茶碗に絵付けしたり焼き上がる様子眺めたり、人との出会いやおしゃべりを楽しむ「野点」に加え、プロジェクトメンバーによる「魅力の予感」を丸亀のまちに持ち出してみる「妄想屋台」が出現予定です。また、開館記念日限定で「妄想ラジオ局」を開設し、アートの枠を超えた様々な番組で妄想を膨らませたお話を届けします。このほか、企画展と常設展の担当キュレーターが展示解説を行うキュレーター・トークや、[妄想](#)をテーマにしたワークショップ、ミュージアムショップでのオリジナルグッズのセール、カフェ MIMOCA の開館記念日限定特別メニューなど、館内全体が妄想とお祝いの雰囲気に包まれる一日となります。今年の開館記念日は、来場者の皆様の妄想を掻き立てる、楽しく創造的な時間をお届けします。

— 各プログラムの紹介

①観覧料無料

この日は観覧料無料で展覧会をご覧いただけます。

開催中の展覧会

企画展「大竹伸朗展 網膜」

常設展「猪熊弦一郎展 Since 1955」

時間：10:00 – 18:00

場所：1階エントランス、2階展示室A・B、3階展示室C

*混雑を避けるため人数制限を行う可能性があります。



撮影：大峯達麻

②妄想ラジオ局

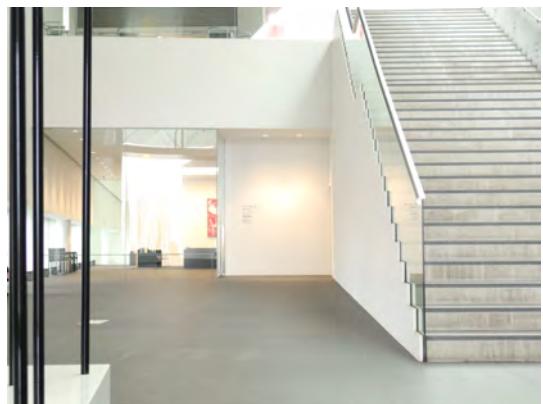
1日限りの妄想ラジオ局を開局

2階アートセンター前に開館記念日限定で「妄想ラジオ局」を開設します。館内のイベントを巡るライブ配信、ゲストトークなど、アートの枠を超えた様々な番組で妄想を膨らませます。

また、MIMOCAのYouTubeアカウントを通じて、当日会場に来られない方にも開館記念日の雰囲気をお届けします。MIMOCA初の試みとなるラジオ局から、皆様の妄想を掻き立てる番組をぜひお楽しみください。

時間：10:00 – 18:00

場所：2階アートセンター前



2階アートセンター前

MIMOCA公式Youtubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCjzg2PgpKYQVdzhGHdGaLA>



妄想ラジオ局の番組の一部をご紹介

ミモキュレ・トーク「耳から網膜！(企画展「大竹伸朗展 網膜」)」、「いのくま Days in NY(常設展「猪熊弦一郎 Since 1955」)」

展示室で行われるキュレーター・トークにラジオ局がお邪魔します。現在開催中の企画展と常設展の担当キュレーターによる展示解説の最後には、ラジオ局からの質問を交えてお届けします。

拝啓、猪熊先生

SNSで事前に募集した猪熊への質問やメッセージをもとに、当館キュレーターが猪熊について妄想を交えてお話しします。

「野点」と「妄想屋台」現地リポート

ゲートプラザで開催している「きむらとしろうじんじん 野点と妄想屋台」をラジオブースを飛び出して現地リポートします。

ラジオショッピング

ミュージアムショップの成り立ちや開館記念日限定で販売する人気商品を詰め合わせたセットなどをご紹介します。

カフェ MIMOCAのメニュー紹介

「大竹伸朗展 網膜」の〈網膜〉をイメージしたケーキや定番メニューについて、カフェ MIMOCA スタッフがご紹介します。

ゲスト企画「10年不動産とMOUSO会議」

馬場商事をゲストにお迎えし、馬場商事の活動内容と、MIMOCAのこれからについて妄想を交えながら語ります。

ゲストプロフィール



馬場商事(ばばしょうじ)

2021年8月創業の不動産会社。創業者である祖父から現オーナーが事業を引き継ぎ運営している。不動産仲介業の傍ら、宿泊事業を立ち上げ、移住体験ができるゲストハウス「ババノバ」の運営も2024年6月よりスタート。カフェ & バーとコワーキングスペースが併設されており、旅人だけでなく、街に広く開放し、挑戦する人たちのコミュニティづくりも実践する。

詳細：https://www.instagram.com/babanoba_guesthouse/

③きむらとしろうじんじん 野点と妄想屋台 22年ぶりに丸亀で「野点」を開催

長期プロジェクト「きむらとしろうじんじん 野点(のだて)と丸亀妄想屋台群」について

きむらとしろうじんじんと一緒に「野点」のお客様をお迎えしたい・妄想屋台（自分にとっての魅力やその予感を屋台にしたもの）を出したいという市民（プロジェクトメンバー）を募りながら進行中のプロジェクト。2026年秋の開催に向けて丸亀をおさんぽして魅力的な風景を探したり、あつたら嬉しい妄想屋台を考えたりするワークショップ・交流会を定期的に実施しています。

野点とは、野外で抹茶をたてて楽しむことを指す言葉ですが、きむらとしろうじんじんの「野点」では、抹茶を楽しむお茶碗を作るところから始まります。お客様は好きな形の素焼きお茶碗を選んで、釉薬を使って絵付けをし、その場で焼き上げた出来立てのお茶碗でお茶を楽しみます。開館記念日で賑わうゲートプラザでは、絵付けの様子や焼き上がるお茶碗眺めたり、出会った人とおしゃべりしたりして、この日だけのさまざまな交流が生まれます。なお、本プログラムは、長期プロジェクト「きむらとしろうじんじん 野点(のだて)と丸亀妄想屋台群」の一環として開催し、プロジェクトメンバーがきむらとしろうじんじんと一緒にお客様をお迎えします。

概要

時間：お昼頃～日没まで

場所：1階ゲートプラザ

参加費：お茶碗作り…1個2,500円

お茶席体験…300円

*お茶碗の数には限りがあります。売り切れの場合はご容赦ください。

*お茶碗作りやお茶席の予約はできません。

*お茶碗は順番に焼き上げるため長時間お待ちいただく場合があります。

きむらとしろうじんじん

1967年新潟県生まれ、京都府在住。京都市立芸術大学大学院美術研究科で陶芸を学ぶ。1995年から移動式陶芸お抹茶屋台「野点」を全国各地で開催。「もっともチャーミングな」服装で参加者をもてなし、路地・空き地・公園などに一期一会の風景や交流を生み出している。丸亀では2001年と2003年に商店街や当館ゲートプラザなどで野点を開催。



東京・山谷玉姫稻荷神社横路上（2015年）撮影：梅田彩華

主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

共催：丸亀市市民交流活動センター マルタス



MIMOKAゲートプラザで実施した野点の様子(2001年)



④キュレーター・トーク

現在開催中の企画展・常設展の担当キュレーターによる展示解説を行います。

企画展「大竹伸朗展 網膜」

常設展「猪熊弦一郎展 Since 1955」

時間／集合場所：企画展 10:30 —／3階展示室C

常設展 15:00 —／2階展示室B



撮影：大峯達麻

⑤ワークショップ 妄想パーツで「顔」をつくろう

来場者にも「妄想すること」の楽しさを体験してもらうことを目的に、自分の顔をつくるワークショップを実施します。妄想パーツは、色画用紙をさまざまな形や大きさにカットしたもので、顔をつくるための材料です。参加者は自由に組み合わせて、自分だけの顔をつくります。完成した作品は掲示して、色鮮やかに会場を埋め尽くします。

時間：10:00 — 15:00

場所：2階アートセンター



左：妄想パーツ／右：完成イメージ

⑥ミュージアムショップのセール

開館記念日限定で、オリジナルグッズおよびカタログの一部を割引価格で販売します。さらに、数量限定で、人気商品を詰め合わせた「猪熊弦一郎セット」・「大竹伸朗展 網膜セット」の2種類を販売します。いずれも無くなり次第終了となります。

時間：10:00 — 18:00

場所：1階ミュージアムショップ

*セール対象外の商品がございますので、予めご了承ください。



上：猪熊弦一郎セット
下：大竹伸朗展 網膜セット
*写真はイメージです。

⑦カフェMIMOCAの特別メニュー

開館記念日限定の特別メニューとして、「大竹伸朗展 網膜」の〈網膜〉をキーワードに、カフェ MIMOCA が開発したオリジナルのケーキを数量限定でご用意します。

時間：10:00 — 18:00 (L.O.17:00)

場所：3階カフェ MIMOCA

*数量限定のため、無くなり次第終了です。



開館記念日限定のケーキ



—— 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(MIMOCA)について

1991年開館、30年を超える活動

1991年11月23日、JR丸亀駅前に開館。同時代の新しい表現を積極的に紹介する「現代美術館」を望んだ猪熊弦一郎の考えを受け継ぎ、猪熊作品を中心とした常設展、現代美術にフォーカスした企画展、子どものためのワークショップなど、多彩なプログラムを開催しています。

さらに、当館は猪熊弦一郎の遺した絵画やドローイングなど作品約2万点を所蔵しています。猪熊が「対話彫刻」と名付けた小さな作品群、猪熊夫妻が各地で収集しその生活を彩っていたコレクションなどの多数の資料とともに、常設展や企画展を通して、猪熊の活動を深く、広く紹介しています。

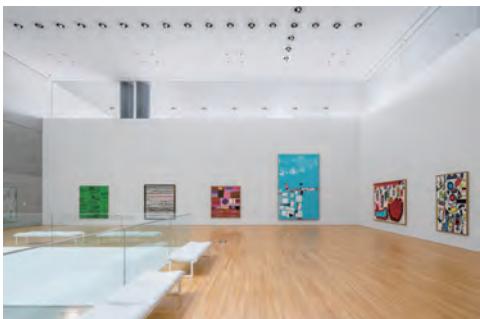


Photo by Yoshiro Masuda

現代美術に特化した美術館として

現代美術を中心とし、企画展として国内外のアーティストの活動を展観。これまでにヤン・ファーブル、マリーナ・アブラモヴィッチ、マルレーヌ・デュマス、エルネスト・ネット、杉本博司、塩田千春、ホンマタカシ、石内都、大竹伸朗らの個展を開催する一方、金氏徹平、小金沢健人、志賀理江子、中園孔二ら気鋭のアーティストの紹介にも積極的に取り組んできました。近年では若手作家を対象とした公募展「MIMOCA EYE／ミモカアイ」を立ち上げ、第1回開催時の大賞受賞者である西條茜の個展を開催しました。また、同時代のクリエイティブな表現にも着目し、ファッションやファニチャーといったデザイン、現代建築にも拡張しています。

谷口吉生の設計による美しい建築

設計は、数々の美術館建築を手がけ、高い評価を受ける谷口吉生。猪熊との対話によって、アーティストと建築家の理念が細部に至るまで具現化されています。

猪熊弦一郎の巨大な壁画《創造の広場》が眼を引く伸びやかなファサードは、駅前広場と建築をゆるやかに結びつけ、館内に入ると自然光をふんだんに取り込んだ、開放的な空間が広がります。2階には対照的なプロポーションをもつ2つの展示室があり、3階の天井高約7mの豊かなスケール感をもつ展示室へと続きます。

さらに、正面左側の大階段はアートへのさまざまなアプローチを可能にするパブリックな空間へと接続しています。2階のアートセンターには、ライブラリー、ホール、スタジオが備わり、3階最奥部にあるカスケードプラザとカフェも来館者に心地よい時間を提供します。

【アクセス】 JR丸亀駅南口より徒歩1分

